

福島県の温泉の概況

【概況】

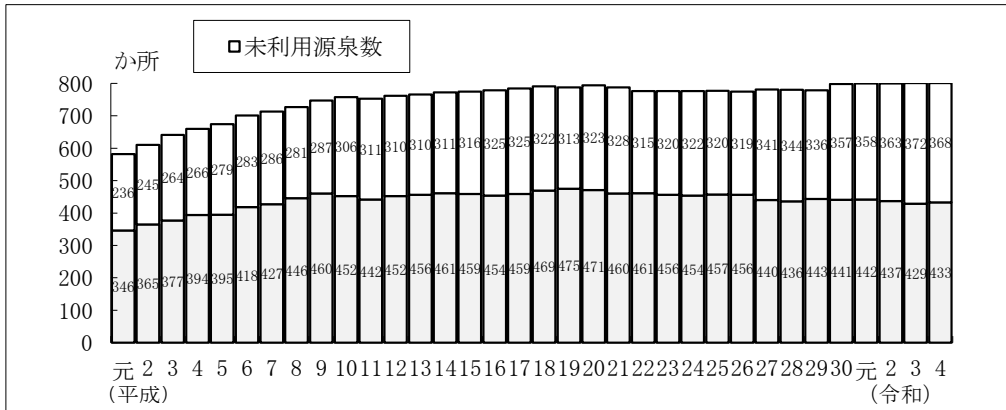
本県は、山・海・湖・川といった豊かな自然とともに、多くの温泉を有する全国有数の温泉県である。

県内には、801か所の源泉があり、そのゆう出量は、毎分約77,385Lとなっている。それらの源泉は、59市町村中53市町村（令和5年3月末現在）に点在し、ほぼ県内全域に分布している。泉質も地域によって様々であり、強酸性から強アルカリ性まで、成分も単純泉から硫黄泉、放射能泉まで実に多種多様である。また、「岳温泉」、「新甲子温泉」、「土湯・高湯温泉郷」、「二岐・岩瀬湯本・天栄温泉」の4ヶ所が国民保養温泉地に指定されている。

宿泊利用者については、平成23年度東日本大震災、令和2年度新型コロナウイルスの影響で大幅な減少となったが、その後回復傾向が見られる。

【温泉数の推移】

平成元年より源泉総数は増加傾向にあったが、ここ数年は横ばい状態であり、源泉総数に占める未利用源泉数も横ばい状態で推移している。



源泉数 801か所 (令和5年3月末現在)

利用源泉 433 (54.1%)		未利用源泉 368 (45.9%)	
自噴 141 (17.6%)	動力装置 292 (36.5%)	自噴 130 (16.2%)	動力装置 238 (29.7%)

温度別源泉数 (温度測定可能な源泉のみ) 531源泉 (令和5年3月末現在)

42℃以上 242 (45.6%)	25～42℃ 160 (30.1%)	25℃未満 96 (18.1%)	ガス・水蒸気 33 (6.2%)
----------------------	-----------------------	---------------------	---------------------